

道徳通信

1 学期号

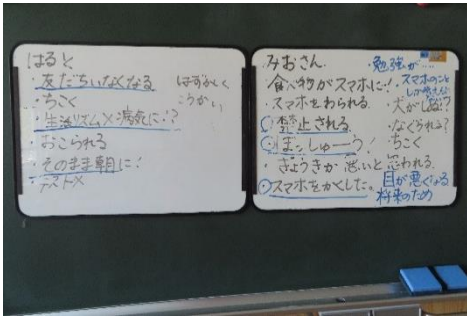

ふじみ野市立駒西小学校



駒西小学校では、心の教育の推進のため「道徳科」の校内研究を行っています。「道徳科」の研究は、今年で2年目に入ります。子どもたち一人ひとりが、自分の心と向き合い、友達と交流していく中で、道徳性を育ててもらえるように考え、日々の授業に取り組んでいます。

この「道徳通信」では、一学期に学習した内容についてそれぞれの学年がどんな学習をしているかを一部ご紹介します。「道徳」でどんなことをしているのだろう、どんなことを考えているのだろう、というお話を、ぜひご家庭でもしていただければと思います。

	主題名	親切な心で	題材名	はしのうえのおおかみ
	ねらい	身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。		
	授業の様子（1年）	相手のことを考え、優しく接することで、自分はどう思うのか、主人公であるおおかみの気持ちになって考えました。児童からは「これからは、親切にしようと思った。」「優しくなった。」「譲ってあげるようになった。」「くまさんが優しくしてくれたから、自分も優しくなろうと思った。」「もう意地悪はしない」「もう誰も傷つけない」などの意見が挙がりました。		
	主題名	みんなに公平に	題材名	「大すきなフルーツポンチ」
	ねらい	自分の好き嫌いにとらわれないで人に接しようとする判断力を育てる。		
	授業の様子（2年）	仲良しのしゅんたさんに、フルーツポンチをたくさんよそった「ぼく」に対して意識を向け、誰に対しても平等に接するとはどういうことなのだろうと「大すきなフルーツポンチ」のお話をもとにみんなで考えました。児童からは、「みんなに同じでないといけない。」「誰に対しても同じように接する。」などの意見が挙がりました。		
	主題名	優しい人っていいな	題材名	やさしい人大さくせん
	ねらい	困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする態度を育てる。		
	授業の様子（3年）	優しい6年生に手伝ってもらってから「やさしい人大さくせん」を考えて実行することにした主人公の気持ちを中心に考えていきました。また、『自分がやさしい人大さくせんをしたらどんなことをしようと思うか。』を考えました。「困っている人がいたら声をかけて助ける」「重い荷物を運ぶ」「一緒に遊ぼうと声をかける」などの意見が挙がりました。		

	主題名	熱中していても	題材名	やめられない?とまらない?
	ねらい	よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする意欲を育てる。		
授業の様子（４年） 熱中し過ぎるとどのような困った事が起きるのかを予想し、自分で決めていることやこれから取り組みたいことなど具体的な解決方法について考えました。児童からは、「遊ぶ時には時間を決めて守る。」「体の健康を意識する。」「家族で相談してルールを作る。」などの意見が挙がりました。				
	主題名	感謝	題材名	「ありがとう上手」に
	ねらい	自分たちの生活が多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気付き、感謝する心情を育てる。		
授業の様子（５年） 自分たちを支えてくれる人やものに対して意識を向け、尊敬し感謝するとはどういうことなのかを主人公の気持ちに立ち考えました。 児童からは、「小さなことでも感謝の気持ちをしっかり伝えていきたい。」「相手に伝わるように心を込めてありがとうを言いたい。」などの意見が挙がりました。				
	主題名	奉仕する心	題材名	うちら「ネコの手」ボランティア
	ねらい	働くことや社会に奉仕することの意義を知り、進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。		
授業の様子（６年） 働くことや社会に奉仕すること、ボランティア活動の意義とはどういうことなのだろうと「うちらネコの手ボランティア」のお話をもとにみんなで考えました。児童からは、「困っている人がいるなら力になりたい。」「自分にもできる小さなボランティアからチャレンジしてみたい。」などの意見が挙がりました。				
	主題名	礼儀	題材名	あいさつはだれのため?
	ねらい	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する心情を育てる。		
授業の様子（こすもす） 道徳のテレビ番組を活用し、学習に取り組みました。映像教材にすることで、児童にとっては理解しやすくなりました。主人公が挨拶をしなかったことで困ってしまう姿を見て、日々の挨拶の大切さ、誰のために挨拶をするのかを考え、自分の考えを発表することができました。「あいさつは自分から元気にする」という意見も出てきました。				